

## 茂木大臣ぶら下がりの概要

日時：8月2日（金）13：06～13：15

場所：アメリカ・ワシントンD. C.

（茂木大臣）

ライトハイザー通商代表と昨日今日と2日間に渡る協議で日米相互にとって良い成果を早期に実現するための議論をかなり前に進めることができました。多くの論点について方向性を日米で共有いたしました。その結果を踏まえて、今後実務者及び次官級を含めた事務レベルの協議を精力的に行うということで一致をいたしました。この事務レベル協議の結果も踏まえて今月中に再度ライトハイザー通商代表と協議する方向で今後日程等を調整することになりました。以上です。

（記者）

協議中でお話しできないこともあるかと思いますが、この2日間の協議で日米間で進展したポイント、もう一方で今回アメリカ側から話があった中で大臣として懸念を持った点がありましたらご紹介願います。

（茂木大臣）

特に懸念をもった点はありませんが、お互いの立場をこれまでも何度も確認してきたところでありまして、そういった中でお互いに歩み寄れるところ、溝というのは、かなり埋まってきたという風に考えています。どの方向に向かうかということについてのイメージは、一致しているのではないかと思います。

（記者）

今日の協議の中で、この協議のゴール、日付、日程感みたいな話はありましたでしょうか。

（茂木大臣）

特に具体的な日程について、確認をしたわけではありませんが、早期に成果を出そうということについては、一致をしております。そのスケジュール感についてのお互いの阿吽の呼吸といいますか、ある程度のイメージというのはそんなに違ってないと思います。

（記者）

かなり前に進めることができたかと仰いましたけれど、取材している側からすると、毎回4月からずっと協議は加速していると聞いていて、合意に向けてどれくらいのハードル、課題が残っているのかというのがちょっとわかりにくい面もあるのですが、今回どの程度の進んだという感じですか。

（茂木大臣）

例えば、登山をするときに、6合目までいったら進んだのか、8合目まで行ったら進んだのか、9合目で進んだのかというのは、なかなか、どこまでを持って進んだというのは言いにくいところはありますけれど、頂上は見えていると思います。

（記者）

大臣が仰るように、お互いに利益となる成果、実績とするためには、日本もそうですけれどもアメリカ側も何らかの譲歩する必要があるかと思いますが、今日の協議では、アメリカ側の前向きな姿勢というのも見られたということでしょうか。

（茂木大臣）

それで結構です。

（記者）

先ほど、どの方向に向かうかイメージは一致していると仰いましたけれども、この意味合いとしては、かねてからアメリカが農業に強い関心を示してきたとされていますけれども、農業以外でも自動車全部を含めたすべての合意という点でイメージが持てたということでもよろしいでしょうか。

(茂木大臣)

細かい個々の項目については交渉の途中でありますから申し上げられませんが、少なくともゴールのイメージは見えてきているのは間違いがないです。

(記者)

これから実務者と次官級の協議を更に精力的にというお話でしたけれども、反対にいうと、閣僚レベルでの大枠で判断する部分というのは、相当詰まっているという考え方で、あとは細かい点を詰めて、その上で、最終的に閣僚間で少し詰めてというようなイメージでしょうか。

(茂木大臣)

やってみないと分からないのですが、少なくとも、実務者・次官級でこんな方向で議論をしようということについては一致していると思います。そういったルールは敷けたのではないかと思います。もちろん交渉でありますから、今後具体的に議論する中で、どういう課題が出てくるか、場合によっては、またライトハイザー通商代表と私との間で詰めないといけない問題が出てくるという可能性を否定する訳ではありませんけれど、少なくとも議論するルールはできているのではないかと考えています。

(記者)

日米で方向性は一致したということでしたけれども、これはかねてから仰っている日米共同声明に基づく内容ということでもよろしいのでしょうか。

(茂木大臣)

結構です。

(記者)

8月の下旬にフランスでG7サミットが予定されていて、もしかするとそこで日米首脳会談がある可能性があるのかもしれないですが、そこに向けたスケジュール感の中でG7サミットの話というのは、なされたのでしょうか。

(茂木大臣)

G7サミットの首脳会談については、まさに首脳レベルで日程調整する話でありますし、それが行われるのかどうかは私にはわかりません。

(記者)

閣僚レベルで決められないこと、首脳レベルに上げなければならない議題というのはどれくらいあるのでしょうか。

(茂木大臣)

想定しておりません。

(記者)

追加質問ですが、今月下旬のG7の日程は分からないということですが、今月中にライトハイザー通商代表ともう一回協議することで一致なされたのは、G7で首脳会談が開かれるのかもしれないことも念頭にという意味合いでもよろしいでしょうか。

(茂木大臣)

いずれにしても、今月中にライトハイザー通商代表とは会うということで一致をしております。あとは日程調整だけです。

(記者)

今月中に一定の成果に至る可能性というのはあるのでしょうか。

(茂木大臣)

ちょっと、それはまだ交渉の途中でありますので、最終的なゴールがどうなっているかというのは今後の交渉の結果次第であります。

(記者)

確認ですが、今月中に行われる場合は、またこちらでやることになるのでしょうか。

(茂木大臣)

まだ場所は決めておりませんが、日程、場所についても調整をするということになっております。いずれにしても会おうということで一致しております。

(記者)

昨日、トランプ大統領が中国に対して新しい関税を発動して、米中の通商摩擦がかなり長期化の様相かと思われそうですが、中国との交渉が日米の交渉に影響してくる点については、いかがお考えになりますか。

(大臣)

少なくとも昨日、今日のライトハイザー通商代表との協議の中で米中の話は出ておりません。

(記者)

農業分野についてですけれども共同声明に基づいてということですが、色々政治的な部分で、例えば、ワイド枠ですとか、そういった部分も細かい論点であると思うのですが、協議のルールはできているという考え方でよろしいのでしょうか。

(大臣)

日米共同声明に沿って協議を進めております。それ以上でもそれ以下でもありません。

(記者)

繰り返しになりますが、8月中に何かしら日米で共同で声明を出すという可能性はあるのでしょうか。この進捗状況に関して。

(大臣)

まだわかりませんが、議論が進んでいるのは間違いありません。

(以上)